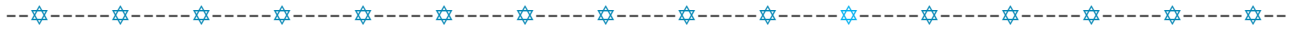


## # 352 『患難時代のクライマックス～ハルマゲドンの最終戦争とその結末』

～黙示録 16 章後半～

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



皆さん、こんばんは。さっぶいですね。この寒い中でもこのようにお集まり頂きまして、本当に励まされております。

私には行きつけの本屋がございまして、梅田の紀伊国屋書店。もう決めてるんですね。

ちょっと前にいつもと同じように物色していたら、50代前半くらいのご夫婦が「高原さんですか？」と声を掛けてくださって「以前、天満橋バイブル倶楽部にも参加したことがあります。」

お二人とも大学で講師をなさっていて、特に奥様は英文学をやっている本に詳しい。

「何かお薦めの本ありますか？」と聞いたら、「あります。高原さんにぜひ読んでいただきたい本があります」と言って、児童書コーナーに連れて行くんです。私は時事問題解説みたいなところをずっと見ていたのですが、「それもいいけど、絵本も侮れませんか」と、ある本を探し出してくれました。

私、それ買いましたよ。中身良かったから。『二番目の悪者』という本。

動物の国があって、次の王様を選挙で決めることになりました。

金色のたてがみのライオンが、「この国の中で1番美しくて力強いのは俺や。だから、次の王様は俺が1番ふさわしいんや」と思ってたけど、人々が皆王になってもらいたいと思っているのは銀のたてがみのライオンだったんです。銀のライオンは町外れに住んでいて、ライオンだけど非常に心優しく、困っている動物を放っておくことができず、あらゆる動物に対して分け隔てせず、いつも動物助けに精を出しているようなライオン。

「このまま選挙に突入したら、俺負けるやないか。」金のライオンが取った方法は、フェイクニュースを流すことでした。銀のライオンについて悪い噂を流す。イメージを駄目にするために、彼がやっているのと正反対のことでフェイクニュースを流す。

その噂（フェイクニュース）がどんどん広がって行くんですが、銀のライオンは「人の噂も75日や。根拠のない噂はそんなに長く続くことはない」と、自分の潔白を証明したり、真実に訴えたりということを敢えて一切しない。「困ったもんだなあ」と、黙って何にもしない。おとなしい性質のライオン。

ところで、この絵本の主人公は金のライオンじゃないんです。銀のライオンでもないんです。

主人公は動物の国の住民である動物たち。すなわち、その他大勢。

金のライオンが悪い噂を流している時、皆は「そんなバカな！ 銀のライオンに限って、そんなこと言うはずがない。やるはずがない。ナンセンスだ。こんなフェイクだ」と言うんですが、皆 噂話には興味あるんですね。住民から住民に伝わる話には耳を貸す。

特に「『実は、銀のライオンって中々暴君のところがあって、陰でヒドイ事してるみたいだねえ』って噂あるの、知ってる？」「あ、それ、リスも言ってたわ。」「えっ！」「カバも言ってたけど。」みたいな感じで。

そのうち、初めは「えっ！」と言っていたのが噂を作り出す側に回って、真実でないにもかかわらず、どんどん噂が噂を呼んで、いつの間にか根拠のない噂が真実として信じられてしまい、選挙当日、圧倒的多数で金のライオンが勝ちました。

ところが、金のライオンが王位に就くと、まあ暴君でムチャクチャやって、最終的には動物の国は更地になって全員滅びました、という話。簡単に紹介しましたが、絵がまた迫力あるんですよ、これが。そして、1番最後の行にこう書いてあるんですね。  
“だれかにとって都合のいい嘘は、世界を変えてしまうかもしれない。”

「ねえねえ、聞いた？」 そんな噂話でなくても、どんどん一気に広まっていく噂話ありますよね。SNS。確たる根拠もないのにコピペしたり、「こんな情報あるよ」と回したり、何か鎖で繋がってるみたいにズワッと広がって。  
SNS 情報・ネット情報・テレビの情報、色んな“情報”と名の付くものはたくさんあるけど、もしかしたら、だれかにとって都合のいい嘘かもしれない。そして、都合のいい嘘は、世界を変えてしまうかもしれない。

ほな、何を信じたらええねん？ 私は情報の元というか発信源。私は本を買う時、タイトルでは買いません。著者で買います。そうすると当たり外れが少ないですね。気の利いたタイトルで買って「えっ、ナニこれ！」って、最近もありました。でも、著者で選ぶとあまり外れない。要するに実績です。その人が今までにどんな発言をし、その発言の結果、その事が本当に起こっているのかという実績。

聖書は本当に今まで叩かれて来た書物ですよ。こんなにも反対され、破かれ、燃やされてきた本は他にありません。にもかかわらず、21世紀になっても今なお生き残り続け、ベストセラーである最大の理由は、聖書が預言して来たことは外れっ放し！ではなく、全部成就しているからです。要は実績なんですよ。

聖書によれば、今みんなが思い込んでいる世界観はフェイクニュースです。  
「神なんかいない！」 「終末なんか来ない！」 「神は私を愛していない！」 フェイクです！  
“真理はあなたがたを自由にする” と聖書にあります。嘘は私たちを縛ります。  
そして、絶好のチャンスを見逃してしまうように導くんですよ。

『ざっくり黙示録』は…、**黙示録**は聖書の1番最後です。何千年にも渡って批判され続け、しかも批判している者が滅びても、聖書の真実性そのもので立っているこの聖書を紹介することが目的です。今日はいよいよ、患難時代の1番最後に起こることをご一緒に見て行きたいと思います。

今日のタイトルは『**患難時代のクライマックス～ハルマゲドンの最終戦争とその結末**』。  
患難時代の最終局面になった時、7つの鉢の裁きがあります。1番目から5番目の鉢の裁きは前回紹介しました。今日は6番目と7番目の鉢の裁きの解説をします。

最初にざっくり言うと、**6番目の鉢の裁き**は、鉢の中身が注がれると**ユーフラテス川が干上がり**ます。その結果、**世界中の王たちがイスラエル全滅戦争に参加**します。その時の全員集合の場所が指定されていて、現在イスラエルにある**ハルマゲドン**です。

今日は第7の鉢も時間があれば行きたいのですが、まず第6の鉢について読みたいと思います。  
**黙示録 16:12 第六の御使いが鉢の中身を大河ユーフラテスに注いだ。すると、その水は涸れてしまい、日の昇る方から来る王たちの道を備えることになった。**

**日の昇る方から**は東から。**王たち**は複数形。  
6番目の裁き、それは大河ユーフラテスに注がれた。そしたら川が涸れてしまった。ユーフラテス川は全長2800キロ。源流はトルコです。

トルコの東から出てシリア・イラクを通過して、途中チグリス川と合流してシャトルアラブ川という名前に変わり、ペルシア湾に流れ込んで行く、中東で1番大きな長い川。  
チグリス川とユーフラテス川の間をメソポタミアと言います。メソポタミアはギリシア語で“2つの川の間”という意味があって、人類文明発祥の地と言われている所ですよ。

ところで、ユーフラテス川が涸れるなんてこと、あり得るのでしょうか？あり得るんですね。  
先ほど言ったように、ユーフラテス川は国際河川で、トルコを通り、シリアを通り、イラクを通り、イラクとイランの間を通り、最終的にペルシア湾に流れて行く。

今 中東世界の覇権を狙っている国が2つありますね。  
1つはイラン。イスラム革命を世界中に輸出したい。これについては今月の天満橋倶楽部でお話します。  
もう1つはトルコ。トルコはユーフラテス川の上流に22カ所のダムと、19カ所の水力発電所を造っているんです。22カ所もダムを造って水門止めたらどうなりますか？

ユーフラテス川はいつも豊かな水をたたえているわけではありません。  
中東には雨季と乾季があって、雨季には大增水するけど、乾季にはぐんと減るんです。  
その上、上流に22カ所もダムを造って水門閉ざしたら、下流に水が流れて来ない。  
そこで今 イラクの農民たちが困っているのは、乾季になるとペルシア湾の海水がユーフラテス川に逆流してるんです。トルコは、「トルコに協力したら水門開けるぞ。」

そしてイランと協力して、トルコの領域にあるユーフラテス川の上流に、イランにも権利のある水力発電所を造っていますね。イランとトルコが手を結ぶということが[エゼキエル 38章](#)に出て来ますが、ここでもそれが展開されているんじゃないですか？  
ですから、人工的にユーフラテス川を涸らすことは可能です。  
しかし[黙示録](#)で語っているのは、そんなことで涸れるんじゃないんですね。

第六の御使いが鉢の中身を大河ユーフラテスに注いだ。すると、その水は涸れてしまい、日の昇る方から来る王たちの道を備えることになった。これが裁きだと言っていて、御使いが裁きとしてユーフラテス川を涸らした。人間がやったことではないんですよ。

黙示録が実現している時代、すなわち患難時代の後半3年半には、ユーフラテス川に世界最大の大都市が出来ています。どこですか？バビロンです。  
聖書の中のバビロンは、バベルの塔を造ったバビロン。そして、ネブカドネツアル王が造り、ユダ王国を滅ぼした新バビロニア帝国の首都バビロン。

バビロンは、バビロニア帝国が滅んだ後もずっと首都だったんです。ペルシア時代も首都の役割を果たしていたし、アレキサンドロス大王がオリエント世界を統一した時、マケドニアを首都にせずバビロンにいました。アレキサンドロス大帝の首都はバビロンだったのです。非常に不思議な町です。

バビロンは現在復興しています。それどころか2019年7月7日七夕の日、ユネスコがバビロンを世界遺産に指定しました。大昔ここにバビロンの町があったということで、実際的な産業都市ではないけど観光都市というか、今復興しつつありますが、まだ田舎です。  
今のイラクの首都はバグダッド。バビロンはバグダッドから南に90キロ行ったユーフラテス川にありますが、そのほりではなく、川をまたいで存在しているんです。  
ユーフラテス川はバビロンがある所では川幅がそんなに広くなくて、バビロン市内を流れています。

2500年くらい前のBC539年10月24日、ユーフラテス川をまたいでいるバビロンがペルシアのキュロス王に滅ぼされました。どうやって滅ぼしたのか？ユーフラテス川をせき止めて涸らしたんです。つまり、ユーフラテス川が涸れるというのはバビロン崩壊の序曲という意味です。

ここでは、ユーフラテス川が涸れたから川越えが簡単になったと勇んでいるけど、聖書的な歴史的事例を見ると、かつてバビロンはユーフラテス川が涸れることで滅んだ。

それが今また、世の終わりに再現しようとしている。しかし本人たちには分からない。これはチャンスだと思っているけど裁きなんだ、と言っているのです。滅亡のしるしなんですけど、続けてこう書いてますね。

**13 また、私は竜の口と獣の口、また偽預言者の口から、蛙のような三つの汚（けが）れた霊が出て来るのを見た。**

**14 これらは、しるしを行う悪霊どもの霊であり、全世界の王たちのところに出て行く。全能者なる神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを召集するためである。**

**14 汚れた霊たちが全世界の王たちのところに出て行く。**

第1番目、この時全世界の王たちは何人いてると思いますか？7人です。

国連に加盟していない国も含めて、現在世界には208の国がありますが、聖書預言によると、やがてこれが世界統一政府の下に統合されて1つになります。しかし世界統一政府はうまく機能せず、10か国に分かれてしまうと書いてあるんですね。世界が10か国になっている時代に、患難時代に入ります。

しかし、患難時代の間地点/3年半になると、この10か国の内の3か国が反キリストによって倒されて7か国になります。すなわち患難時代の後半は、世界には国が7つしかない。

なので、この時全世界の王たちを集めたというのは7人の王です。7人の王が、それぞれ自分が管理しているブロックから軍隊を召集して、反キリストの呼びかけに応じていくと語っているのです。

ところで患難時代後半の3年半、特に最後の局面において、世界はどんな状況になっているのでしょうか？この6番目の鉢の直前に、1番目から5番目までの鉢の裁きがぶちまけられてるんですよ。

**1 番目から 5 番目までの鉢の内容**を検討します。

- ① 獣の像を拜む者たちにだけ、悪性の腫れものが出来ている。7つの国の多くの国民は腫物によって七転八倒なんですよ。
- ② 海が完全に死んだ。恐らく船も被害を受けている可能性があります。
- ③ 飲み水が無い。水源地・川の水が血のようになった。それを飲むしかない。飲み水に不便している。
- ④ 太陽が火で人々を焼くことを許された。太陽の活動が異常に活発になるのか、太陽と地球の距離が短くなるのか理由は書いてないけど、異常気象によって「ちょっと暑いな」ではなく、文字通り焼かれるような状況。
- ⑤ 獣の国が真っ暗になった。朝が来ない。一日中暗黒。

そんな状態で、「地球の裏側のイスラエルに攻め込む戦争をするから、さあ！みんな集まれ！」と言った時、喜んで協力するような王がいますか？自分の国の国民は恐らくパニックになってます。

「いったい何が起こったんだ?!」慌てふためき苦しんでいる。今からよその国に鉄砲担いでいくような元気は無いです。今国民を総動員するのは国力を弱めることで、指導者ならそれはしたくないはず。ところが、それに応じる。なぜ応じるのか？

**13 また、私は竜の口と獣の口、また偽預言者の口から、蛙のような三つの汚れた霊が出て来るのを見た。**

14 これらは、しるしを行う悪霊どもの霊であり、全世界の王たちのところに出て行く。全能者なる神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを召集するためである。

竜はサタン（悪魔）。獣は独裁者反キリスト。偽預言者は“もう1匹の獣・地から出て来る獣”という別名を持つ 獣の助け手。獣とよく似た性格。竜・獣・偽預言者。悪の三位一体です。

この3つのものの口から、蛙のような三つの汚れた霊が出た。蛙は汚（けが）れた動物。

イスラエル人には蛙は食物になりません。蛙は汚れた食物。食べません。

汚れた霊というのをビジュアルで分からせるために、蛙のような三つの汚れた霊と言っているのです。

これがどこから出た？ 口から出た。

普通、口から何が出ますか？ 言葉です。メッセージです。情報が発信されます。

ある時キリストが言われました。「あなた方は何か食べたなら汚れると思っているけど、人の口から出る言葉、これが人を汚すのです。」

口から出た汚れた霊とは、霊的に強力な惑わしの力を伴うようなフェイクニュースです。

反キリスト・偽キリスト・偽預言者・竜の口から出たフェイク（二セ）情報を聞いたら、どんなに絶体絶命だとしても、「いや、やったら勝てるで」と信じさせてしまうような特別な説得力を持つウソ。

それは霊的なものです。

私も何回か引っかかったんですけどね、フィッシング詐欺。Apple がね、「あなたのメールアドレスがサインインしてない」とか言って。ちょっと確かめたら、Apple とそっくりな同じホームページになってるからね、「これ間違いないかな…。待てよ、これアカン言うてたやない！」とかね。

もう3回もやられた。3回やってさすがにね、もうしなくなりました。

そういうのが来たら、ネットで“こういうのが出てます”と検索すると“それはフィッシング詐欺です！”こんなんに引っかかる人はずいぶん減ったと思います。というのは定型文だからです。

だけど最近 スピアフィッシング”というものがある。スピアは槍。これは、その人のメールのやり取りの内容を分析して、まるで個人宛てに来たような文章にするフィッシングです。

普通 フィッシングは誰が引っかかるか分からないから、一人ひとり個別のフィッシングの文章を考えることはできません。だけど人工知能が出来てしまった。人工知能の登場で、それに情報搾取の色々な機能を組み合わせていくと、その企業・その担当者・その経理の人たちだけが今抱えている問題・事情・状況にピッタリの文章のフィッシング詐欺。

シンガポールのテクノロジー庁が実験してみました。人間が個別に作ったフィッシング詐欺の文章と人工知能が作ったのでは、人工知能が作った文章に引っかかる人がはるかに多いそうです。

これ見破るの、むっちゃ難しいですよ。ちょうど買おうと思っていた物を、“ですよね～”みたいな感じで、それが友達の名前で来たら、見破るのは中々難しい。

個人のレベルじゃなく、大企業が何億何十億の大きな支払いのことでサイバー攻撃受けて、日本企業が相当これにやられてるんですよ。現に。

なんで引っかかるかという、説得力があるからですよ。内部の者しか知らないような話を知っている。その前提での話になっていくので、“これ信用できるわ”ということで乗っかってしまうのですが、説得力のある話にはやっぱり弱いですよ。

人工知能の力を借りるんじゃないんです。竜（悪魔）の口から出て来るのは嘘です。

しかし、一目で分かる嘘ではない。反キリストの口から出て来る汚れた霊、偽預言者の口から出て来る蛙のような汚れた霊、**これらは、しるしを行う悪霊どもの霊**。つまり奇跡が伴う。

「今ならイスラエルを全滅させることができるぞ。というのは、これこれこういう情報があるからだ」と言って、動画やイスラエルから盗み取ったメール内容・機密情報などのしるしを見せ、「これは信用できる！」と思い込ませて突っ込んで行く。

こういう事は歴史上あったんです。今日はあまり時間が無いので、たっぷり言えないんですけど。第3次中東戦争（1967年）。エジプトがイスラエルに対して先制攻撃、チラン海峡を封鎖しました。イスラエルはヨルダンの国王に、「絶対にイスラエルと戦争しないでください。あなたが戦争に参加しない限り、我々がヨルダンを襲うことはない。」

イスラエルは最初の6時間で、エジプトが持っていた約400機の航空機の内380機以上を破壊しました。中東では、制空権を失ったら、勝敗はもう決まったも同然です。ところが、エジプトのナセル大統領はヨルダン王に、「今 エジプト空軍はイスラエル空軍を壊滅した。エジプトの戦車はイスラエル国境を突破して、ネゲブ砂漠を北上中である。何をモタモタしてる？ おまえの取り分無くなるぞ。早く戦争に参加すると決めなさい！」

イスラエルは「それ、嘘やからやめとき」言うてる。エジプトは「こちらのほうが本当である。アラブは兄弟である！」言うて。悩ましい。ヨルダンはどちらを選びましたか？ ナセルを選んだんです。で ボッコボコにされて、エルサレムの旧市街全部取られたんですよ。

現実の中東戦争において、フェイクニュースによって、しなくてもいい戦争をしたアラブの指導者がいた。だけど患難時代の最後には、悪霊の力による惑わしによって、しなくてもよいイスラエル全滅戦争に全世界が参加すると書いてるんです。これは裁きです。

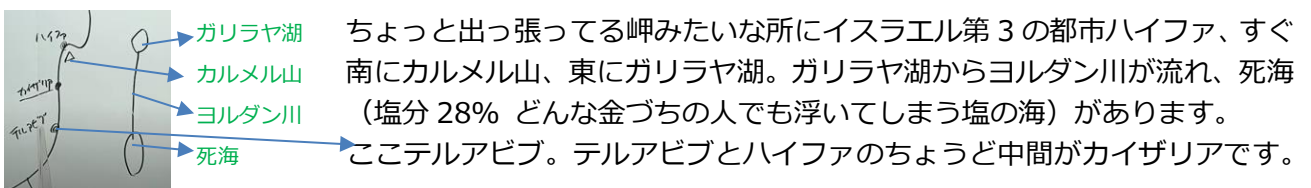
どんな裁きなのか？ 真理を拒み続けていると偽りを信じてしまうという裁き。これは正しいと思ったら、躊躇せずに受け入れるべきです。真理を拒み続けていると心がどんどん固くなって、とうとう何が真理なのかを判断する感覚がなくなり、嘘なのにそれを信じ込むようになります。これほど酷い裁きはないと思います。しかし、それは身から出た錆でもあるのです。だから、これは裁きだと言ってるんですよ。

第3番目。では、彼らはどこに召集されたか？

### 16 こうして汚れた霊どもは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる場所に王たちを集めた。

7つの国の指導者たちみんなをハルマゲドンに召集した。このハルマゲドンって いったい何なのか？ ハルは“山”、自然の山です。人工的な山はテル。テルメギドという所がありますが、ここはハルメギド。メギドの山。具体的にはイズレエル平原です。

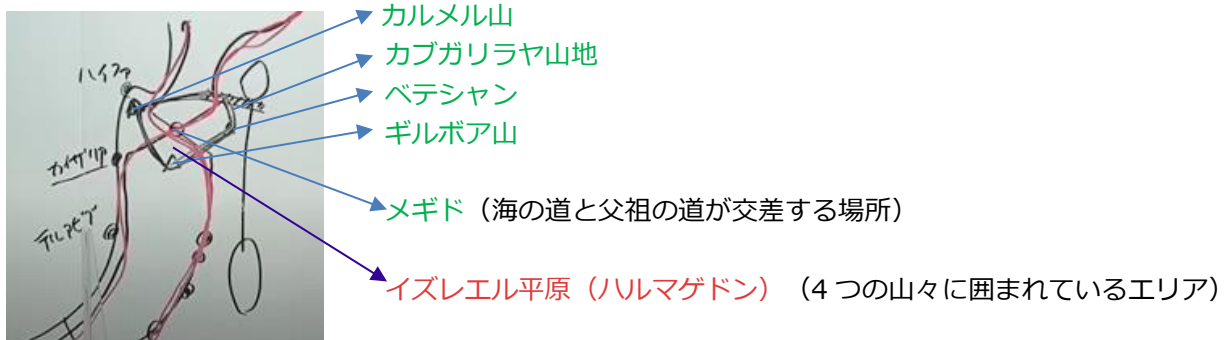
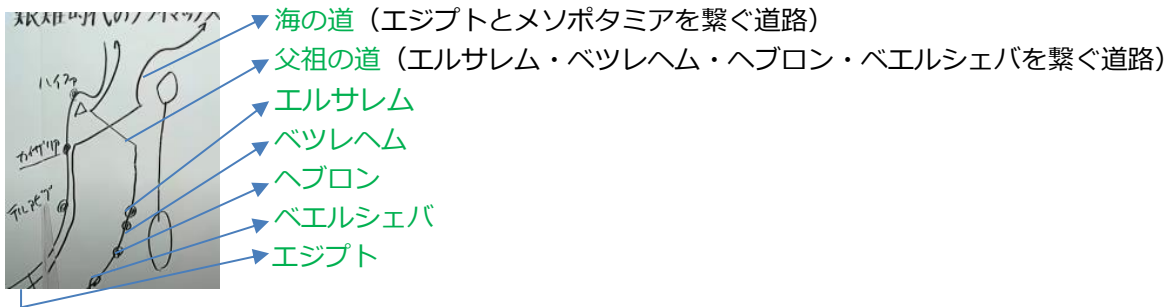
メギドはどんな場所でしょうか。簡単に説明します。私はパワーポイントとか使わない主義なんですね。使えないんですけど。自分の絵で説明したいと思います。



昔 中東、特にイスラエルには、大きく言うと 2 本の幹線道路がありました。

1 本目は海の道。エジプトとメソポタミアを繋ぐ道路です。ずっと海沿いを行って、カイザリアで急にグッと曲がるんです。曲がってそのまま シリアからメソポタミアに行く海の道。

2 本目は父祖の道。エルサレム（標高 8000m の山）の下にベツレヘム、そのずっと下にヘブロン、そのずっと下にベエルシェバ。これらは全部山の上にあります。これらの山を繋いで、サマリアを通過してずっと行くと、途中でグッと斜めに切り込みます。そのままフェニキア、レバノンの方に行く父祖の道。



この 2 大幹線道路があって、海の道と父祖の道が交差する場所がメギドです。メギドは交通の要所。メギドの山・山々と言った時、西にカルメル山、北にカブガリラヤ山地、南にはサウル王が殺されたギルボア山、東にはベテシャンという丘というか山。

これらの山々に囲まれているエリアがイズレエル平原で、イスラエル最大の平地です。日本の関東平野。イズレは“種を蒔く”。イズレエルは “神が種を蒔く”。イスラエル最大の平地。これがハルマゲドンです。メギドの山々が見える場所なので、ここも具体的にはイズレエル平原と考えることができます。

なぜここに軍隊を召集したのか？ 海の道を通るにしても、父祖の道を通るにしても、海の道から途中で父祖の道に変えたり、その逆にしても、イスラエルになだれ込んでくる時、どうしても押さえておかなければならない交通の要所がメギドだから。なのでメギド、**ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる場所に王たちを集めた**。ハルマゲドンという場所は召集場所であって、戦場ではないんです。

聖書が語っている世界最終戦争の戦場はボツラとエルサレムです。

ハルマゲドンに 1 度集合して、その後 南下してボツラやエルサレムになだれ込み、攻め込んで来るのが世界最終戦争です。だから、“ハルマゲドン戦争” と言うと誤解を生むんですね。

ハルマゲドンは軍隊が集合する場所であって、戦場ではありません。

地形はこの時は変わらないので、この場所に王たちを集めた。

集められた者たちはイスラエル殲滅のために集まって来たけど、なぜイスラエルを殲滅するのか？  
先ほど汚れた霊と言いましたが、汚れた霊は反ユダヤ主義を語っているんです。

**マタイ 23:39 わたし**（イエス・キリスト）**はおまえたちに言う。今から後、『祝福あれ、主の御名によって来られる方に』とおまえたちが言う時が来るまで、決しておまえたちがわたしを見ることはない。**

「祝福あれ、主の御名によって来られる方に」は「メシアよ、来てください」というメシアに対する信仰告白文なんですね。イスラエルがナザレのイエスに向かって、メシアとしての呼びかけをするまでは、**おまえたちがわたしを見ることはない。**

逆に言えば、ユダヤ人たちがイエスに「祝福あれ、主の御名によって来られる方に」と呼ぶ時に、地上再臨が起こるのです。この段階で、イスラエルが準備され始めているわけですね。

キリストの地上再臨があるなら、反キリストはじめ全て全滅ですよ。これを阻止できる唯一の可能性はイスラエルを全滅させること。なので、イスラエル全滅戦争に全世界の王たちを召集するのです。なぜそれに乗っかるのかというと、ユダヤ人に対するいわれ無き怒り・憎しみ・憎悪。

今も日本の識者と言われている方々…、僕は左翼ではないです。どちらかという保守です。むちゃくちゃ保守やと思います。ただね、保守論陣の中で「ロスチャイルドが〜」「ユダヤ陰謀が〜」。もうくどくど言う方がいて、いずれね、決着付けたいな思ってるんです、私。ま、相手にされないから、一方的に個人チャンネルで言まくってやるかなと思ってるんですけどね。「あん時こう言った、こん時こう言った。でも、こうや。こうや。」今準備中なんです。

反ユダヤ主義に加担することは、**汚れた霊**に加担することと同じですよ。

患難時代、異邦人はユダヤ人からものすごく恩恵を受けます。144000人のユダヤ人たちが、異邦人に福音を宣べ伝えてくれるからです。だから、反ユダヤ主義の色んなことがニュースに出るかもしれませんが、そんな蹴散らしてください。

## 第7の鉢の裁き。

### 17 第七の御使いが鉢の中身を空中に注いだ。

1番目から6番目まで、鉢の中身は獣の国や海・川・太陽・ユーフラテス川に注いだのですが、ここでは**空中に注いだ**。なぜ空中に注いだのか？

**エペソ人への手紙の2章2節**に、サタンのもので、**空中の権威を持つ支配者**と書いてあるんですね。

なので、**サタンに向けて注がれた裁きの鉢**。これが**第7の鉢の裁き**だと思います。

**エペソ 2:2** **かつては、それらの罪の中にあつてこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従って歩んでいました。**

さて鉢の内容ですが、まず大きな宣言が起こるんですね。

**17 第七の御使いが鉢の中身を空中に注いだ。すると大きな声が神殿の中から、御座から出て、「事は成就した」と言った。**

**大きな声**の持ち主は神です。前回見たように、この時神殿は神以外立ち入れない状態にしています。雲が立ち込めていて誰も立ち入ることができない。その御座から語られている言葉なので、これは神の宣言で「事は成就した。」

事とは何か？ 患難時代に起こるべき裁きが全部終わった。患難時代の終息宣言。「これで終わります！」というフィナーレの宣言です。この宣言で分かるように、これは患難時代のラストのラスト。患難時代の最後の日に起こることが、ここで語られているのです。つまり、第6と第7の鉢の裁きに時間差がある。最後のクライマックスの初めと終わりについて、第6と第7の鉢で説明しているんですね。

第6と第7の鉢の裁きの時間差の中で、少なくとも6つの事件が起こります。それについては次回、**黙示録 17章 18章 19章**に出て来ます。

患難時代は2520日続きますが、2520日目に起こることが**17節**以降です。「これで終わった…！」何が終わるのか。そして何が始まるのか。

**18** **そして稲妻がひらめき、雷鳴がとどろき、大きな地震が起こった。これは人間が地上に現れて以来、いまだかつてなかったほどの、大きな強い地震であった。**

2520日目に**大きな地震**が起こります。新約聖書に大きな地震が14回出て来ますが、その内の7回は**福音書**と**使徒の働き**です。残り7回は全部**黙示録**。黙示録に出て来る地震の中で、人類史上最大の地震が2520日目に起こりますが、その地震で4つのことが起こります。

**19** **あの大きな都は三つの部分に裂かれ、諸国の民の町々は倒れた。神は大バビロンを忘れず、ご自分の激しい憤りのぶどう酒の杯を与えられた。**

### 1) **あの大きな都は三つの部分に裂かれる。**

**あの**と言っているから、以前に出て来た**大きな都**のことです。

**黙示録 11:8** **彼ら** (2人の証人) **の死体は大きな都の大通りにさらされる。その都は、靈的な理解ではソドムやエジプトと呼ばれ、そこで彼らの主** (イエス・キリスト) **も十字架にかけられたのである。**

これはエルサレムのことだと分かりますね。でもエルサレムって、そんなに大きな町ではないですよ。ニューヨークと比べなくても、大阪市と比べても、エルサレムより大阪市のほうが大きいと思いますよ。人口もはるかに多いと思います。

ここで**大きな**と訳されていますが、これは“大いなる”と訳すほうが良いと思います。大いなる都。だって、聖書の最初から神が指定した都で、エルサレムは大いなる使命を与えられているのですから、エルサレムは大いなる都と言ってもいいのです。

このエルサレムが**3つに裂かれます**。なぜエルサレムが引き裂かれるのか？ 反キリストの偶像が祀られている神殿があるからです。つまり、1度汚されているんですね。それで、ここで引き裂かれました。

### 2) **諸国の民の町々は倒れた。**

**諸国の民**は異邦人です。世界中の国々(7つの国々)の首都、首都じゃなくても大きな都(ニューヨーク・ロンドン・パリ・北京・モスクワ・東京などの大都会)、それら世界中の主要都市も地震で**倒れた**。

なぜこれらの町々が裁かれるのか？ 次に出て来る町が原因なんですね。

神は大バビロンを忘れず、ご自分の激しい憤りのぶどう酒の杯を与えられた。

先ほどバビロンのことを触れましたが、バビロンは現イラクにあります。バグダッドから南に 90 キロ。ユーフラテス川をまたぐような形であります。

聖書を見ると、獣の国の首都はバビロンです。獣（反キリスト）は、偶像はエルサレム神殿に設置してるけど、ずっとエルサレムにいるわけではありません。設置したら、彼は移動してバビロンに行きます。バビロンが患難時代後半 3 年半、全世界を支配しコントロールするための中枢都市になります。皆さん、イラクが世界の中心になるって、ちょっと信じられますか？

聖書預言で、あんまり先のことを言うと言説力ないんですよ。想像しにくいから。でもね、それでも言うんです。銀のライオンみたいに黙ってたアカン。前もって言うといったら、そうやって来た時に「あ、そうやん！」って分かるやん。

バビロンは、今は見る影もないですよ。イラクの中でもバグダッドのほうがはるかに栄えていますが、バビロンは反キリストの首都になります。この大バビロンは非常に残酷な都です。非常に罪深い都です。

今 私たちは中国の臓器移植…、政治犯たちから内臓をえぐり取って、それを臓器移植に利用しているというニュースを聞いて、もう はらわた煮えくり返るといふか、なんで岸田内閣は日本型のマグニツキー法を通さない？ 何やってる？ ほんとに。この間 おじさまが来られた時には、一生懸命「岸田さん、期待してます」と言ったんですけどね。いやもうね、ちょっとアカンで、それは。ホンマに。

だけど、反キリストの国ではそれやりますよ。非常に残酷で、そこでは人間が売買されている。彼らがそこで商う商品のリストが黙示録 18 章に出て来ます。非常に残酷・流血・放縦で、欲望を完全開放するような町。諸国の町々はバビロンとの取引で潤っていたので、バビロンが崩壊すると同時に彼らの町々も倒されます。悪魔的な町と交易・協力することで繁栄を手に入れていた患難時代後半の町々は、同じように裁きを受けるのです。

#### 4) 20 島はすべて逃げ去り、山々は見えなくなった。

これは地形の激変です。7 大陸が沈下し、島は水没し、山は平らになり、地形が丸っきり別の姿に変わってしまいます。地震があまりにも大きかったので、陸地の形が変形すると語っているのです。この地震の目的はいったい何でしょうか？

ヘブル人への手紙 12 章。人類史上最大の地震について書いてあります。

26 あのとときは御声が地を揺り動かしましたが、今は、こう約束しておられます。

「もう一度、わたしは、地だけではなく天も揺り動かす。」

27 この「もう一度」ということばは、揺り動かされないものが残るために、揺り動かされるもの、すなわち造られたものが取り除かれることを示しています。

28 このように揺り動かされない御国を受けるのですから、私たちは感謝しようではありませんか。感謝しつつ、敬虔と恐れをもって、神に喜ばれる礼拝をささげようではありませんか。

この大きな地震は、揺り動かされない御国が産み出されるためです。

揺り動かされない御国とは、患難時代の後に出て来る千年王国。

それが産み出されるために、まず反キリストの国がスクラップになります。新しい時代の幕開けですね。これが大地震によって成し遂げられます。

この地震の原因というか、何を合図に起こるのかについても 1 箇所見ておきます。

ゼカリヤ書 14 章。これはキリストの地上再臨のことです。

**4 その日、主の足はエルサレムの東に面するオリーブ山の上に立つ。オリーブ山はその真ん中で二つに裂け、東西に延びる非常に大きな谷ができる。山の半分は北へ、残りの半分は南へ移る。**

**5 「山々の谷がアツアルにまで達するので、あなたがたはわたしの山々の谷に逃げる。ユダの王ウジヤの時に地震を避けて逃げたように、あなたがたは逃げる。」**

**私の神、主が来られる。すべての聖なる者たちも、主とともに来る。**

私の神、主が来られる。地上再臨のことです。イエスは旧約聖書で主なる神として紹介されています。イエスは地上再臨でオリーブ山の上に立つ。オリーブ山はその真ん中で二つに裂け、東西に延びる非常に大きな谷ができる。

ゼカリヤ書では二つに裂かれるという情報だけです。黙示録では、ゼカリヤ書の段階では明らかにされていなかった より詳しい情報が付け加えられていると考えられます。

ですから、患難時代最後の人類史上最大の地震が起こりますが、それはキリストの地上再臨によってもたらされる。つまり、2520 日目にキリストの地上再臨がある。

それによって、エルサレムは 3 つに裂かれ、町々は倒れ、大バビロンは裁きを受けるのです。

黙示録 16 章に戻って、地震によって町々が倒れ、続けて起こることについて見たいと思います。

**21 また、一タラントほどの大きな雹（ひょう）が、天から人々の上に降った。この雹の災害のために、人々は神を冒瀆した。その災害が非常に激しかったからである。**

**第 7 の鉢の裁きはサタンに対する裁き**です。なので、サタンに従うことをやめようとしなかった人も 同じように裁かれるんです。ここでは雹が人々の上に降った。

1 タラントは 34kg と聖書の欄外に書いてありますね。34 キロの氷の塊が人間目がけて飛んで来たら、どんな人でもひとたまりもないと思います。

そんな災害の中で人々は悔い改めたのではなく、人々は神を冒瀆した。その災害が非常に激しかったからである。この時に神を冒瀆しているのはサタン。

“人々の心はサタンと完全に一致した状態になっているのだ。そのようになってしまったのは、真理を拒み続けているために嘘を信じるようになったからだ。これほど大きな裁きはない。”

これが、ここの結論だと思います。

さて、私は『ごうちゃんねる』という個人のチャンネルで、今“終末預言を考えるシリーズ”として解説していますが、コメントが色々入って来て、その中に「終末終末言うな！」というのがあるんですよ。

「暗いやないか！ そんな 気持ちが暗くなるようなことばかり言うな！」みたいな。肯定的な 100 のコメントより、否定的な 1 のコメントのほうが心に残ったりして。でも私、お気持ち分かるんですね。

「神様は愛じゃないの？」「聖書の神は愛ではないのですか？」「愛の神がなぜ裁きを語るんですか？」「なぜ終末語るんですか？ おかしいじゃないですか！」という憤りというか疑問。

皆さん、なぜ聖書は裁きを語るんでしょう？ 最後に 3 つ申し上げて終えたいと思います。

**1) 事実だから。** 聖書の特徴は事実を語るということです。

昔 鈴木大拙（すずき だいせつ/1870-1966）という禅宗のお坊様がこう言いました。

「キリスト教と仏教はどこが違うか。仏教は釈迦の教え・考え方・思想が素晴らしいので、釈迦が架空の人物であったとしても一向に構わない。仏典を釈迦以外のだれかが書いたとしても、教えそのものに価値があるから嘘であっても構わない。仏教は哲学だから。」

「しかし、もしキリスト教で、イエスが架空の人物だとか、十字架に掛からなかった、3日目によみがえらなかったということなら、聖書の福音は成立しない。聖書は事実立脚しているからである。」

私は色んな比較宗教学の話を書きましたが、この人が一番ピンときたなあ。だって、ハーバード大学で英語で仏教を伝えた人。奥さんアメリカ人。ガッツがある。最期は聖路加病院で召されたんですね。その話はまたいつかします。

## 2) 悔い改めの機会を与えるため。

以前、少年犯罪の裁判に関わった方が書いている記事を読みました。ある中学3年生が、コンビニで万引きして鑑別所に送られました。ガッカリしていたので、担当の警官が励ますために「キミ初犯やからな、初めてのことやから家に帰れるわ」と言ったんです。もちろん、「ちゃんと反省すれば少年院送りにならず家に帰れる」という意味ですよ。

だけど、彼はちょっと誤解しましたね。“初犯はどんな子供でも自動的に家に帰れる。少年院に行くことはあり得ない”と取ったんです。その結果どうしたか。約4週間の鑑別所生活で、反省のために面談したり、作文書かせたり、カウンセリングしたりしますが、「どうせ家に帰れるのなら、この4週間は面白おかしく楽しく過ごそうぜ！」と勘違いした。

最初の課題は“今自分が考えていること”というタイトルで作文を書く。その内容はこうです。「僕はこれから盗みの修練を重ね、最終的にルパン4世となり、思い切り贅沢で豊かな生活をし、余ったお金で世界中の貧乏人に良い生活をプレゼントすることでノーベル平和賞を取りたい。」担当官が「おまえ、ええ加減にせえよ。真面目にやれ！」と言うのですが、真面目になりません。

次の作文のタイトルは“僕の友達”。「僕は中学に入って2年半、1日も休まずに万引きに精を出し、盗んだ物を友達に分け与え続けたので、僕には子分が百人いる。」担当官が怒って「ナニ考えてんだー！」“今回の事件を振り返って”という作文。「いつもは監視カメラのない所をよく見計らって盗んで来たが、今回新しく設置されたカメラを見落としていたのは実に不覚であった。こんなことでは一流のルパン4世になれない。もっと努力を重ねなければ。」ナメくさってんねん。

被害を受けて来たコンビニの店長が、この少年に手紙を送って来ました。店長は怒っている。「今までどれだけたくさん盗んで来たんだ？ 今度キミがうちの店に来たら、店員をピットリ張り付けて監視下に置くからな！」返事書けと言われて、「見損なうなよ。俺は天下の怪盗ルパンを目指している。おまえんとこみたいな小さな店、相手にせんわ」と書いたんです。腹立ちますね。ええ加減にせえよと。

彼は「裁きなんか無いわ。俺自動的に帰れるわ」と思っているから、一向に改めることがなかった。そして4週間経ちました。まず精神鑑定を受けた。正常。調査官が親に面会に行ったら、親が「呑気でんなあ」と。こんな親やからこんな息子になるのよ。

そして、少年裁判で裁判官が「君がどうしても怪盗ルパン4世を諦めないと言うのなら、その考えを改めさせるために少年院送りに処する」という判決を出した。その瞬間、少年は号泣しながら「ごめんなさい！ごめんなさい！」あんまりのたうち回って謝り倒すから、最終判決を1か月延期して、もう1度4週間やり直しなんですね。

皆さん、優しい言葉は彼を悔い改めに導くことはできなかつたんです。

どんな犯罪を犯しても、自分は未成年だから罰を受けることは絶対ないのだと思い、裁きは絶対に自分に来ないと思っている限り、人生を本当に改めることはできません。

なぜ愛の神が聖書の中で裁きを語るのでしょうか？ 人に悔い改めの機会を与えるためなのです。

私たちは患難時代に行かなかつたとしても、“人間には1度死ぬことと、死後に裁きを受けることが定まっている”とあります。なぜそれを書くのですか？ そこに行く前に、悔い改めて神に立ち返るためです。

### 3) 解決策があるから。今なら間に合うから。

**黙示録 16:15** 一見よ、わたし（イエス・キリスト）は盗人のように来る。裸で歩き回って、恥ずかしい姿を人々に見られることのないように、目を覚まして衣を着ている者は幸いである。

キリストの地上再臨は盗人のように来る。「いや、2520日目と書いてあるじゃないですか。」

そうです。信じている人には、思いがけない地上再臨にはなりません。

患難時代の聖徒たちは、指折り数えてその日を待っているんですよ。

盗人のように来るとは、思いがけない時に来る。虚を突いて来る。

なぜ突然のことのように思うのか。信じていなかったからです。

信じている者には**黙示録**は希望の書物です。あと何日経てばキリストが介入し地上再臨があつて、この苦しい時代が終わるといふ望みのメッセージです。

しかし、「そんなもん、あるわけない」と頭から拒否している人は、その当日「こんな事とは思っていなかった！」と驚くんですね。

その まだ信じていない者たちに向かって、わたしは盗人のように来るから、目を覚まして衣を着ている者は幸いである。目を覚まして衣を着る者であつてほしいと、ここで救いを呼びかけておられるのです。

今の時代も同じです。神は私たちが怖がらせたいのではなく、救いを得させたいので終末預言を語っておられるのです。

ぜひ、イエス・キリストを救い主として信じてください。心からお勧めします。

^^ ^^

\* 使用した聖書は『聖書 新改訳 2017』

\* 動画はYouTubeで「[HCA 東住吉キリスト集会](#)」

\* ラジオ番組「[聖書と福音](#)」（約15分）もぜひどうぞ。YouTubeもあります。

\* YouTube「[ごうちゃんねる](#)」もぜひ見てください。